

教文演劇フェスティバル参加作品

「チートライ」

作品概要

青いチエックの衣装をまとった青色の民・4名が会合をしている。人間が、なぜこんなにも無駄が多いのにもかかわらず繁栄しているのかを知りたいのだ。青色の民は、人間であるヒトミに「アンケート」と称して近づき、その「人間性」を盗み取ることにした。「ムダムダ吸引機」という器具をヒトミに貸し出し、ヒトミに対しては、「生活向上」のために器具を使え、と言ふ。しかしこの器具は「人間性」を盗み取り、盗み取った「人間性」を手―鱈に変える装置であった。ヒトミは「恋愛心」を盗み取られることにより、ヒロシとの交際を終えて資格を取り始める。ヒトミは生活が向上し、目標に向かって生きる人間になったと思いきんでいる。青色の民は、盗み取って変化したチ―鱈を食べることにより、「恋愛心」を獲得する。ヒトミの友人ユキは、このことに疑問を感じ、チ―鱈を取り戻しに行く―。